

萌芽会報

第27号

平成24年5月1日発行



機械電気科

萌芽会・編集部

大阪市都島区善源寺町1丁目5の64
都島工業高等学校 機械電気科研究室内

TEL:06-6921-0291 (直通)

FAX:06-6925-3970

印刷:近土写真製版株式会社

ご挨拶

萌芽会会長 谷 泰明
(昭和四十四年卒)



萌芽会会員の皆様、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。平素より浪速工業会並びに萌芽会に絶大なるご支援、ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。今年も三月二日に都工の卒業式が厳粛に行なわれ六二名(写真参照)が就職・進学に果立っ

ていき、我が「萌芽会」に入会しました。後に各教室で御祝の言葉と恒例の卒業記念品の印鑑付ボールペンを贈呈しました。

平成二十三年度も機械電気科はレスキューロボットに力を入れており、八月神戸での全国大会出場、一〇月水都大阪へのイベント参加しており、浪速工業会の母校後援事業費の全額と、全国大会出場に際し、御祝金を送り応援しました。又、「浪速工業会関係記念奨学金」で各年一名計三名の機電生に奨学金で学校生活を支援しました。本年度も引き続き支援していきま

別欄にも紹介していただきますが、昭和三八年卒のクラス会が盛大に挙行された写真等を掲載しました。

後日、多額の寄付も頂き紙面にてお礼申し上げます。今後、開催予定のクラス会が有りましたら連絡下さい。住所等の情報が必要な場合は、浪速工業会にメール等で連絡下さい。出来る限り要望に答えます。今年、昭和三十七年卒の先輩が卒業五〇周年の年で機械電気として、初めて学校行事に参加されます。萌芽会も別欄にも案内してありますが総会で機電一期生の「おもて

なし」企画していただきますので、多数の参加をお願いいたします。私ごとですが、萌芽会会長を二期四年やつてきました。次期会長を三九年卒の高橋先輩に引き継ぎたいと考えていますので、総会の折には承諾願います様お願いいたします。

最後に今、何をするにもお金が必要です。不景気の折、大変恐縮ですが、これから果立っていく後輩の為に萌芽会費二千円、浪速工業会の三千円と合し五千円納入にご支援賜りますようお願い申し上げます。皆様方には、是非この当時の色んなエピソードなどを後輩の我々にお聞かせ願いたく様楽しみにして居ります。

萌芽会懇親会 にご招待!!!

(第一期生(S.37卒)の方々)

一期生の皆様方に於きましては

今年度は、卒業よりちょうど、五十年の節目となる

めでたい年に、当たりますので

是非とも万障繰り合わせの上

お越し願いたく、思っています。

皆様方には、是非この当時の色んなエピソードなどを

後輩の我々にお聞かせ願いたく様

楽しみにして居ります。

第32回 萌芽会総会・懇親会のご案内 (機械電気科卒業生同窓会)

- 日時:平成24年7月7日(土) 18:30 ~ 総会・懇親会(受付18:00より)
- 場所:湖陽樹 谷町店
大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル16階 TEL:06-6946-3927
地下鉄谷町四丁目8番出口すぐ前
- 会費:S.38年~H.11年卒は¥8,000、H.12年~H.17年卒は¥5,000、H.18年~H.23年卒は¥4,000、
H.24年卒(新卒)は¥3,000、女性会員は¥3,000

●どうぞ同級生を誘い合ってご参加下さい。

- ご出席の方は、①浪速工業会会報・同封の返信ハガキ(表面赤字で印刷のところに出・欠をご返事受付)
- ②萌芽会メール(アドレスhouga-kai@mail.goo.ne.jp)にて出・欠ご返事受付
- ③谷 会長宛 TEL.FAX:072-693-1102、Eメール:yasuaki 0413@tcn.zaq.ne.jpにて出・欠ご返事受付
携帯電話:090-9250-3580、携帯メール:yasuaki 0413@ezweb.ne.jpにて出・欠ご返事受付

科長挨拶

機械電気科
科長 生駒 純一



萌芽会々員の皆様には益々ご健勝、ご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。さて、平成二十一年度より三年間にわたり科長として科のまとめ役として活躍されました青木俊明先生は、先生のお身体のことやいろいろの事情があり、科長を退かれました。この間科の発展や組織のまとめ役でご尽力頂きました有り難うございました。また、お疲れさまでした。そこで科の事情もあり、青木先生に代わり、三度私が、科のまとめ役を引き受けることになりました。この一年間、微力ではありますが精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年度は、萌芽会よりレスキューロボットコンテスト出場に於いての製作物品

とCAD実習でのサーバー機1台を寄贈していただきました。有効に利用させていただきます。

また、一昨年度より設立された浪速工業会関淳記念奨学金に於いて、昨年度も各学年一名ずつ月額五千円給付していただきました。生徒、保護者共々感謝しております。

次に、実習に影響を及ぼしてきた施設設備の更新としてCAD室のコンピュータを一昨年から申請しておりましたが、昨年度末に、浪速工業会の方からCAD用コンピュータ8台と関連ソフトを寄贈していただき、教育委員会からもコンピュータ12台を設置していただきました。有難うございました。この20台のコンピュータを今後、実習等に有効に活用していきたいと考えています。

次に科の近況をお知らせ致します。

平成23年度の卒業生(a組担任生駒純一、b組担任小林登先生)62名は、三月二日に大きな夢と希望を持ってそれぞれの進路に進んでいきました。リーマンショックからの脱却ができず、求人数数約700件は、前年と同様に厳しいものでした。一次の内定率は、74%程度の結果でありました。一社目・四社目で内定になるなどかなり苦戦しましたが、就職希望者全員の内定は決まりました。進学希望者については、工専の希望者が3名と激減し、大卒や専門学校への進学が増え、志望する進学先が決まりました。これは、担任の先生方のご努力、科の先生方の指導と卒業生の奮闘により希望の進路実現ができたと思っております。各方面で活躍の諸先輩方、後輩の指導よろしくお願い申し上げます。

三年生は、進路決定の時期に入り忙しくなってきましたが、都工祭では上級生の指導の下、57名の二年生は、機械の伝統を立派に受け継ぐと思っております。

競争率一・一八倍の門をくぐった機械・機械電気気の群募集の一年生は、

前期での機械科と機械電気科の教科内容を体験しながら選択科をじっくり考え、後期にはどのような生徒が機械電を選択するか楽しみにしています。

また、日頃から視野を広げるため、進路意識の高揚を目的に工場見学、OB進路懇談会を毎年実施しています。昨年は5月27日(金)の午後に浪速工業会理事・萌芽会会長の谷泰明様をはじめ8名の先輩方に出席していただき、現在の社会状況・社会人になるための心構えなど生徒にとって貴重なお話をいただきました。誠にありがとうございました。

今年度は、5月25日(金)の午後に予定していますので、後輩のためにご協力をお願いいたします。

都工祭体育祭の部は、10月15日(土)に実施される予定ですが天候により順延となりました。平日に行われなかった。平日にもかかわらず、保護者・OBや近隣の方々多数来られて大盛況でした。応援団員が中心となって一致団結した応援披露を行い、また、各学年の生徒達は一生懸命競技をし、心に残る一日でありました。

今年度は、体育祭の部が10月13日(土)文化祭の部は、11月23日(金)「勤労感謝の日」・24日(土)に予定されておりますので、後輩達の活躍を見に来てください。対外的には、科の専門性を高めることを目的にレスキューロボットコンテストに毎年チャレンジしてまいりますが、昨年度は残念ながら賞を受賞できませんでしたが、最後の本選まで出場し健闘いたしました。本年も書類審査の結果、採択され参加が決まりました。3年生2名を中心に2年生8名が新たに加わり、優勝をめざして日々ロボットづくりに取り組んでいます。7月8日(日)に予選、8月11日(土)・12日(日)に本選があります。諸先輩方の応援よろしくお願いいたします。

本年度の萌芽会総会・懇親会(7月7日(土))には、多くの卒業生とお会いできることを楽しみにしております。

最後になりましたが、萌芽会々員諸氏の今後のご健勝とご発展を心からお祈り申し上げます。

後期からは各科に分かれて一年a組担任伊原登、b組担任蒲田哲也の予定であります。

(教務課出向学習指導)

青木 俊明

(教務課出向生活指導主担)

磯谷 享倫
小林 登
小山 佳則
近藤 勇気
(敬称略)

平成二十四年三月卒業生

a組(31名) 担任/生駒 純一



H23年度 機械電気科 卒業生 a組

b組(31名) 担任/小林 登



H23年度 機械電気科 卒業生 b組



平成二十三年度機械電気科職員

平成22年から2年間、期限付講師としてご勤務いただいたおりました前川雄貴先生は、この度、めでたく教諭として、採用され、4月より大阪市立東淀工業高等学校 電気工学科の教諭としてご勤務されています。伊原登先生は、引き続き再任として、本科の1年生の担任としてご勤務していただいております。また、昨年度、大阪市教

育センターで情報処理関係の研修をされていた蒲田哲也先生は、本科に復帰され、伊原先生と共に1年生の担任としてご勤務されています。

昨年に引き続き三年生の担任として普通科(体育)城島悦子先生、二年生の担任として、普通科(家庭)大江美都子先生にお世話いただく事になりました。よろしくお願い申し上げます。

平成24年度機械電気科は、つぎの職員で生徒の指導に当たります。

科長 生駒 純一
三年a組担任 城島 悦子 (体育)
b組担任 山口 和宏
二年a組担任 大西 光
b組担任 大江美都子 (家庭)
MME (一年のみ前期は機械・機械電気科で共通履修)
一年3組担任 伊原 登 (再任用)
一年全体 蒲田 哲也
1組・2組は機械科からの担任です。

第三十一回 萌芽会総会

懇親会は盛大に開催



会長挨拶

平成二十三年七月二日(土)湖陽樹谷町店にて開催されました。総会は谷会長の挨拶に始まり、機械電気科科長の青木俊明先生より科の近況報告を賜りました。議事は会務、会計、会計監査の報告の後、会計予算審議では、議案書どおり満場一致で承認されました。



来賓の皆様

引き続き、懇親会に御来賓をお迎えし、都工の吉田豊治校長、浪速工業会の岩井誠理事長、近江巳記夫元衆議院議員の方々のご祝辞を頂き、機械電機の青木科長の乾杯の御発声で宴は盛り上がりました。



新会員

最後は新入会員による機械電気科応援歌の合唱、並びに応援披露を行い、最後は全員にて校歌斉唱で終了しました。懇親会は、歴代・現役の先生方・浪速工業会の新入会員七名を含め計四十八名のご参加を頂きました。今年度は別途ご案内し

ております様に、七月七日(土)に昨年同様の湖陽樹谷町店での開催です。今回は丁度七夕の日の総会です。毎年この時期に再会できる機会です。是非同窓生を誘いあつてのご参加をお願い申し上げます。尚、浪速工業会の返信葉書に総会への出欠のご記入頂き必ずご返事下さい。

【お詫び】平成二十二年度第三十回総会にて、昭和六十三年卒業の有志の方々よりご寄附三万円を頂戴致しました。ありがとうございます。報告が遅れましたこととお詫び申し上げます。

- 進路先状況
- 企業就職.....30名
 - 公務員就職.....1名
 - 大学進学.....18名
 - 短期大学進学.....1名
 - 高専進学.....3名
 - 専門学校進学.....7名
 - その他.....2名
- (計62名)

- 平成二十四年三月卒 萌芽会クラス幹事
- a組 東 倫子
 - b組 川田 力豊

『新卒業生の言葉』

機械電気科 3年a組 東 倫子



都工に入學してからの三年間は、とても短く、しかし濃い三年間だったと思います。

私達が、三年生になる約一ヶ月前に東日本大震災が起り、世間は自粛ムードでした。しかし、都工の三年生はとても元気だったと思います。とくに機械電気科の三年生は大変元気が良く、活発でした。たまに先生方に怒られたりしましたが、クラスメイトに気を遣える生徒が多く、皆が仲良く過ごすことができました。

私は卒業後、四年制大学のロボット系学科に進学します。企業に就職する友人や、都工の後輩に負けないように頑張ります。また、生駒先生の口癖だった「マナーの守れる大人になって、いつか、クラスメイト全員で集まりたいです。」

機械電気科 3年b組 川田 力豊



私にとって、都工での三年間は、とても短くて

会費振込みの厳しい中、下記の会員の方より浪速工業会会報の広告募集に御協力頂きました。(敬称略) 有難うございます。

139号浪速工業会会報広告(平成24年5月1日発行)

- 高橋数隆(S39年卒) 新熊輝久(S59年卒)
- 岩地 馨(S41年卒) 目標金額 ¥100,000
- 中野晴夫(S44年卒) 申込金額 ¥100,000
- 殿川藤雄(S44年卒) (達成率100%)
- 後藤 武(S56年卒)



いい思い出ばかりでした。高校生活の中心は、やはり部活動(テニス部)でした。一年生では、初めての練習のレポート書きに追われ、部活動では基礎体力づくりや本格的な厳しい練習などがあり、あつという間に二年生になりました。二年生では、レギュラーとして公式戦にも出場し、厳しい練習にも耐え自分なりに頑張りました。そうこうしている間に三年生。三年生では将来の進路を決めるために、忙しい日々を過ごしました。本当に自身の詰まった二年間でした。また、都工祭や修学旅行などの行事も最高の思い出になりました。この楽しかった三年間は、いい友達やクラスメイトに恵まれたからだと思います。

同窓会だより

同窓会報告

幹事 馬淵敏治 (昭和三十八年卒) 機械電気科同窓会



四十年ぶりの同窓会を二〇一一年十月十五日(土)十七時から、ホテルクライトン(地下鉄御堂筋線・西中島南方駅)で執り行いました。卒業生四十人のうち、二十一人が参加しました。受付は、お前だれやった? お前〇〇か? など再会を喜ぶ場と化しました。会は森本先生初め五人の故人への黙祷で始まり、互いの健康を喜び合い、励ましあい、喜びに充ち溢れた四時間で、二年後の卒業五十周年に再会することを確認して宴が終わりました。(欠席者七名、故人五名) 不明者七名、故人五名

参加者名: 内海健栄、大久保啓徳、貝原和年、亀川修平、木村慎治、岸本 洋、齊藤 勝、坂井由章、佐藤 進、寒川 達、島本勝哉、高久 誠、竹村守順、谷川能章、中泉敏幸、中山真一、馬淵敏治、宮田 守、髙野井 俊、山田武利、和田喜久雄 (二十一名)

平成23年度体育祭



平成23年10月18日に実施されました体育祭は、下の様な、結果でした。

平成23年度体育祭・得点表

	機械電気	電気電子	機械	建築	都市工	理数
1年	71	61	75	89	86	68
2年	66	60	105	88	73	61
3年	66	58	82	67	75	98
各科対抗	23	37	72	23	49	54
合計	226	216	334	267	283	281

本年度体育祭は、【10月13日(土)】(雨天順延)です。

平成24・25年度 萌芽会役員案

Table with 3 columns: (役職) (氏名) (卒業年). Lists officers including 会長 高橋 数隆, 副会長 木村 豊, etc.

平成24・25年度 浪速工業会役員案

Table with 3 columns: (役職) (氏名) (卒業年). Lists officers including 理事 高橋 数隆, 監事 川口 寿通, etc.

平成二十三年度会務報告

総務
平成23年5月1日 萌芽会会報26号発行
平成23年5月27日 機械電気科OBを囲む
浪速懇談会(OB8名出席)
平成23年7月2日 第31回萌芽会総会
(大阪市中央区 湖陽樹 谷町店)
平成23年8月6日(7日)
第11回レスキューロボット本選出場応援
出場祝金贈呈
平成24年3月2日
平成24年度卒業式にて62名の卒業生に
卒業記念品贈呈
平成24年3月21日
浪工会よりCAD室のコンピュータ8台寄贈する
役員会
平成22年度
平成23年6月17日
萌芽会第31回総会準備打合せ
平成23年度
平成23年7月30日
①平成23年7月30日
代議員の選出
第31回萌芽会総会・懇親会の総括
第11回レスキューロボットの本選応援
平成24年1月21日
②平成24年1月21日
平成23年度卒業生記念品(62名)の件
夢サポートの会計決算報告
第32回萌芽会総会・懇親会の件
萌芽会報27号編集会議
来年度浪工会・萌芽会役員候補者選出の件
浪工会139号会報広告募集の件
昭和38年卒会員の寄付の件
平成24年3月24日
③平成24年3月24日
萌芽会報27号編集会議
来年度浪工会・萌芽会役員候補者選出の件
浪工会会報・会員名、住所用紙に印字作業の件
萌芽会第32回総会案内の件

平成23年度収支会計決算報告：自 平成23年4月 1日 至 平成24年3月31日
平成23年度収支予算(案)：自 平成24年4月 1日 至 平成25年3月31日

Table with 2 main sections: 収入の部 and 支出の部. Each section has columns for 23年度, 24年度, and 25年度 (budget/forecast). Includes items like 前年度繰越金, 第31回総会収入, etc.

平成二十三年度収支会計決算報告

平成23年度萌芽会部会費納入会員 ご芳名(80名) 平成24年3月31日現在

Table listing members and their graduation years. Columns include 卒年, ご芳名, 卒年, ご芳名, 卒年, ご芳名, 卒年, ご芳名.

24年度も萌芽会部会費にご協力を!

人生の終末 第三話

第一話は定年までに二千万円を貯めよう。第二話では娘二人を持つ事。息子はいい。と述べた。さて、六五歳を過ぎた人生の締め括りは身辺整理だ。「人生がときめく片付けの魔法」近藤麻理恵著が大ベストセラーになっている。要は断捨離である。私は著者の言うとおり、技術本、有名人の色紙、洋服、趣味収集品、トロフィーなど全て捨てた。著者は言う。「全て捨て切ったあとは人生が良い方向に変わる。」と。その事。本当にそうか。今。その事。実感している。何とも言えない感覚だ。しかしどうしても捨て切れぬものがある。それは思い出の数々の写真だ。どうすれば捨てる踏ん切りがつかぬのか迷走している。答は本のなかにあるのだがそれができない。(昭和四十年卒 川口 寿通)

萌芽会・平成二十三年度浪速工業会・会費納入実績

Table with 2 columns: 浪工会会費, 萌芽会会費. Lists membership numbers for 平成24年度 and 平成24年3月31日現在.

浪工会会費(年3千円)、萌芽会部会費(年2千円)の振込み納入宜しくお願いします。

のは面倒だ、②時間がからず簡単にできる料理がいい、③仕事に持って行くお弁当も作りたくない、④後片付けの手間を少なくしたい、⑤料理を面倒くさくなく長く続けられるには?と、結構我が儘に条件を出していきました。その条件一つ一つに対して解決案を考えたり、あつちの条件が立てばこつちが立たないとなれば折衷案を見出してみたり:こんな自問自答で一日が軽く潰れてしましました。結局のところ、次のようになりました。①②インターネットで簡単なレシピを探し、曜日毎でメニューを固定する。③晩御飯を二人分作り、一人分を翌日のお弁当にする。④テフロン加工のような手入れが簡単な鍋を揃える。⑤料理が慣れた余裕が出てきたらアレンジを加えて楽しんでみる。何だかんだと尺稼ぎのように私事を書き並べましたが、変わる環境に強いられるのではなく、自らが都合の良いように環境を作っていくという積極性が大事なのではないか、という事を申し上げたいのです。自分で作り上げたものの方が受け入れやすいと思いませんし、長続きもするのではないかと思います。私は料理の話を出しましたが、今なお仕事を定時で終わった時には自炊をしておりません。自分の我が儘が通る所で目一杯やりたいうようにやってみるのも、楽しく生活できて良いものではないでしょうか。以上(平成一六年卒 岡崎 彰)